

# 私のしごと館事業に係る需要見込み

基本構想時の需要見込み (平成7年)	現在の需要見込み (平成18年度データをもとに作成)	実績 (平成18年度)
<p>1 修学旅行者数 <u>約 20 万人</u></p> <hr/> <p>考え方                      中高生京都市内修学旅行者数×体験学習実施率                      (約90万人=中50万人+高40万人) (中30%、高20%)                      (平5) (平5)                      ※開館時(平15)までの生徒減少率を考慮</p>	<p><u>約 51 万人</u></p> <hr/> <p>中高生京都市内修学旅行者数×体験学習実施率                      (88万人=中63万人+高25万人) (中62%、高49%)                      (平18) (平18)                      ※体験学習実施率；修学旅行日程に体験学習を取入れている                      学校割合</p>	<p>約 6.6 万人</p> <hr/> <p>京都・奈良・                      大阪・滋賀を                      除く小中高生</p>
<p>2 社会科見学者数等 <u>約 20 万人</u></p> <hr/> <p>考え方                      近県小中高1学年生徒数 × 来場見通し                      約40万人(平5) 50%                      (営業活動等)</p>	<p><u>約 20 万人</u></p> <hr/> <p>近県小中高1学年生徒数 × 来場見通し                      39万人(平18) 50%                      (京都・奈良・大阪・滋賀) (営業活動等)</p>	<p>約 8 万人</p> <hr/> <p>京都・奈良・                      大阪・滋賀の                      小中高生</p>
<p>3 教員・企業研修等 <u>約 5 万人</u></p> <hr/> <p>(考え方不明)</p>	<p>—</p> <hr/> <p>実績がないことから市場ニーズは考えない</p>	<p>—</p> <hr/> <p>少数のため計上                      せず</p>
<p>4 個人客数 <u>約 45 万人</u></p> <hr/> <p>考え方                      (団体・個人各客数比率を同数と推計)</p>	<p><u>約 24 万人</u></p> <hr/> <p>平成18年度団体客数(71万人)をベースに、有                      料来館者団体・個人客数実績比率(団体3:個人                      1)で配分</p>	<p>約 18.5 万人</p> <hr/> <p>個人客+学校                      以外の団体客</p>
<p>約 90 万人</p>	<p>約 95 万人</p>	<p>約 33 万人</p>

出典；(財)日本修学旅行協会「修学旅行白書平成5年版」「教育旅行白書2008年版」